



浦川親俊相談役

私達はここに悲しりお知らせを
しなればはなりませぬ
東村山市民テニス協議会 相談役
浦川親俊相談役は平成元年8月6日
心不全の急 東京女子医大病院にて、
おなくなりになりました。81才との事です
浦川氏は1973年8月26日市民テニスに
入りお翌1974年11月1日から恩賜
クラブ初代会長として活躍された。
そして又、水曜日を利用する「どんぐり」の
創設者でもあります。この創設の理由の
一つをとっても浦川相談役の人柄が
充分にしのばれ市民テニスの会員及び知人
の方々からは 彼こそ本当の紳士である
と尊敬され信頼されておりました。
「どんぐり」の創設理由は、土、日、祭日の
コートは付きまじりの若い人達につかって
もらって、我々は水曜日のコートをお空いて
いるときを利用していったらこうではないか
という浦川氏の謙虚なお心から
はいまったものであります。7月下旬迄は
毎週かかえす水曜日にはコートにでられ
得喪のエアを振りまいておられました。
又コーラス部にも所属され柱となって
活躍されておいたとの事です。浦川氏の御
逝去しのび御冥福をお祈り申し上げます
柳 利夫
* 太田芳郎名誉会長からも御静養先の
軽井沢より平電をいんたいしました。
なお 葬儀は東京都港区区内の
お寺で市民テニス会員40余名の参加を
含み多数の参加者によってしめやかに
とりおこなわれました

追悼

私とテニス

本町クラブ 光井きさ子

いつも、この欄を楽しく拝見させて頂いてま
いたが、こんなに早く、自分に回帰してくるとは
思いませんでした。たしか4年位前だったと
思いますが、下の子供が小學校に入学したの
を機に、なんとなく暇つぶしもあって近くの
スクールで10回程度レッスンを受けたのが
硬式テニスとの出会だったと思います。
それから市民テニスという団体を知り、入れて頂きお入
り、入ってから一年間はなんとなく楽しく、せせと出席し
諸先輩皆様により、ごめんどうをおかけしたもので
した。今、思えば「テニスそのものもよくわかった」
ただ「ベテランを温める日々」が2~3年(エルゴと合ふ)
つづいたように思います。
そんな時に、本町クラブの元会長だった、三宅さんに
朝クラブを教わって頂き、早起きという習慣をわかって
いたかった。私に最初はおちつと苦勞しおいたが
とにかくラケットを握れることが楽しかったのです。
その日の朝、夏冬、迎えて起きられるようになったのも
試合らしいものかできるようにもなったのも、朝クラブの
お陰であつて、又、モーター、森教室による熱コーチ等の
アドバイスもいかり自分の心の中に入り、有意義な
時間をもちた事も、その後の練習につなげた
ものと思われます。
主婦という事を忘れて、テニスをやる事は
お論ですか、それでも、もう少し、まともな試合が
して見たつと時々思うことかありませぬか
いくつやっても、うまくならぬ私に「ネットボール」
でも如何という意見を回りにあり、その方が
良いのか、たんで思うこともしばしば。
そしてコートに行けば、いつも心よく、相手を
して下さる皆様は感謝の気持ちでいっぱいです。
テニスという素晴らしいスポーツに集う人々との
つながりを大切にしながら、長くできるテニスを
してゆきたいと思っております。
(OOさんの文章一部拝借いたしました)

* 紙面の都合上部分省略、附加あり下さる

編集 後記
 (私とテニス)編集長の愚筆で、よく御解説を
 光井様、自筆ではありません(本人の名譽の為に)
 秋期市民大会、皆様、頑張ってください。